

## 第 64 回日本神経学会学術大会のお知らせ

第64回日本神経学会学術大会  
大会長 桑原 聡

### 開 催 概 要

1. 学術大会会期：2023年5月31日（水）～6月3日（土）  
「煌めく脳神経内科学の明日を目指して」をテーマとして、上の日程で開催致します。
2. 学術大会会場：幕張メッセ  
〒261-8550 千葉県美浜区中瀬 2-1
3. 演題募集期間：2022年9月30日（金）正午～11月24日（木）正午  
※募集期間の延長はありませんのでご注意ください。  
※学生・研修医演題およびメディカルスタッフ演題も同時募集いたします。  
演題登録に関する詳細は、決定次第、大会ウェブサイト「演題募集」に掲載いたします。
4. 早期事前参加登録：2022年9月30日（金）13:00～2023年4月17日（月）17:00  
※事前参加登録、当日参加登録はすべてオンラインにより登録を行います。  
※日本神経学会第21回専門医育成教育セミナー1)、第20回生涯教育セミナー「レクチャー」  
「Hands-on」2)、第10回メディカルスタッフ教育セミナー3)は、オンラインによる事前登録制です。  
1)～3)は1月以降登録開始予定です。  
※詳細は大会ウェブサイトをご確認ください。(https://www.neurology-jp.org/neuro2023/)  
※事前参加登録開始前に、今一度ご自身の会員登録情報のご確認をお願いいたします。  
ご所属やご住所、ご連絡先メールアドレスに変更がある場合は、必ず日本神経学会会員マイページにて情報をご修正いただいてから、期間内に事前参加登録を行ってください。  
事前参加登録システム上では、会員登録情報の修正は行えませので、ご注意ください。
5. 参加費

		事前 (4/17 17:00 以前)	事前 (4/24 以降)・ 当日
会 員	正会員	15,000 円	18,000 円
	研修医会員 *1	3,000 円	3,000 円
	学生会員 (大学院生) *2	3,000 円	3,000 円
	学生会員 (学部学生) *3	無料	無料
	メディカルスタッフ会員	3,000 円	3,000 円
	外国人会員	3,000 円	4,000 円
非 会 員 *6	非会員 (医師・研究者)	18,000 円	21,000 円
	非会員 (医療関係企業)	18,000 円	21,000 円
	メディカルスタッフ *4	8,000 円	8,000 円
	初期研修医 *5	3,000 円	3,000 円
	大学院生 (医師以外) *5	3,000 円	3,000 円
	海外参加者	5,000 円	6,000 円
	学部学生・日本滞在中の外国人留学生 *3	無料	無料
メディカルスタッフ教育セミナーのみの参加 (6月3日 (土))		1,000 円	1,000 円

その 他	全員懇親会（5月31日（水））	3,000円	3,000円
	プログラム・抄録集 <sup>*7</sup>	4,000円	4,000円
	ポケットプログラム（日本語版）	1,000円	会場 1,000円

\*1 2023年5月会期当日の時点で研修医会員としてご登録のある、初期研修医の方のみが対象です。

\*2 大学院生で正会員になられている方は、必ず「正会員」の料金を事前参加登録をお願いいたします。学生会員枠には当てはまりませんのでご注意ください。

\*3 学部学生・日本滞在中の外国人留学生の方は、会員、非会員にかかわらず、「ID」のご提示（アップロード）が必要です。

\*4 医師以外の医療介護福祉関係者、非会員のメディカルスタッフの方は「メディカルスタッフ証明書」を事前にご提出ください。（「メディカルスタッフ証明書」は大会ウェブサイトよりダウンロードしてください。書式が2種類ありますが、どちらか可能な一方をご提出ください。（両方ご提出いただく必要はありません）

\*5 非会員の大学院生の方は、「大学院生証明書」のご提出（アップロード）が必要です。（「大学院生証明書」は、大会ウェブサイトよりダウンロードしてください）

非会員で初期研修医の方は、「初期研修医証明書」のご提出（アップロード）が必要です。

会期当日時点において「大学院生」、「初期研修医」であることが条件となりますのでご注意ください。

\*6 非会員の参加費は税込（10%）です。

\*7 学術大会参加費に含まれておりませんので、ご希望の方はお申し込みください。5月10日（水）までのお申込者には事前送付いたします。在庫がなくなり次第、終了します。

\*8 会員にはポケットプログラム（日本語）1冊を、4月17日（月）時点で学会にご登録いただいている住所宛てに事前発送します。会員で2冊以上の購入をご希望の場合には、参加登録システムより別途お申し込みください。販売は、在庫がなくなり次第、終了します。

## 6. お問い合わせ

### 【大会長校事務局】

千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学  
〒260-8670 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

### 【第64回学術大会運営事務局】

〒102-0075 東京都千代田区三番町2  
株式会社コンベンションリンクエージ

TEL: 03-3263-8688 FAX: 03-3263-8687

### 【日本神経学会事務局】

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-21 一丸ビル 2階

TEL: 03-3815-1080 FAX: 03-3815-1931

jsn-secretariat@neurology-jp.org（学術大会担当）

## 一般演題について

口演発表とポスター発表を予定しております。

- \* 現時点では、国内・海外に関わらず、口演発表、ポスター発表共に現地会場で発表していただく予定です（誌上でのみの発表は予定していません）。
- \* 現地発表の有無にかかわらず、前回大会同様に事前に発表動画を作成・提出していただく予定ですので、ご了承の上ご応募ください。

1. 申し込み：申し込みはすべてオンラインにて受け付けます。

2. 演題募集期間：2022年9月30日（金）正午～11月24日（木）正午  
※募集期間の延長はありませんので、ご注意ください。

## 3. 演題要旨作成時の注意

(1) 演題の制限：1 演者につき 1 題とします。但し、共同演者になることは差し支えありません。1 施設から多数の申し込みも歓迎いたします。

(2) ご登録いただく項目

◎登録・発表言語：日本語もしくは英語（応募カテゴリーによる言語指定あり）

※基本は、抄録の登録言語が発表言語となるようにセッションを組む予定ですが、内容によっては、抄録が英語でも日本語発表を、あるいは抄録が日本語でも英語発表をお願いする場合があります。ご了承ください。

◎発表形式区分：口演もしくはポスター

◎筆頭演者と共同演者の氏名（日英）：演者数は 20 名以内

◎筆頭演者と共同演者の所属機関（日英）：所属機関数は 10 機関以内

◎演題名（日英）：日本語は全角 40 文字以内、英語は半角 100 文字以内（スペース含む）

◎抄録：

・抄録は、日本語または英語でご登録ください。（応募カテゴリーによって言語指定あり）

・日本語は全角 800 文字以内、英語は半角 1,600 文字以内とします。（スペース含む）

・【目的】【方法】【結果】【結論】に分けて簡潔に記入してください。その都度改行はしないでください。改行を行っても、抄録印刷の際に反映されません。

・抄録内容が不完全な場合（誤字、脱字、具体的な数値の不足、【目的】【方法】【結果】【結論】に項目立てされていないなど）、不採用になりますので抄録作成の際に細心の注意を払ってご投稿ください。

(3) 筆頭演者は本学会の正会員である必要があり、登録時に会員番号およびパスワードを入力していただきます。未入会者は、必ず日本神経学会 HP「入会に際して」をご確認の上、「入会までの手順」に従って、演題登録締切の 1 週間前までに、入会手続き（入会申込書の送付、年会費の支払い）をお済ませください。入会手続きには 1 週間～2 週間かかる場合がございますので、余裕を持ってお手続きしてください。演題登録締切の 1 週間前（2022 年 11 月 17 日（木））までにご入会手続きが完了していない場合は、ご登録いただいた演題を不採択とさせていただきますので、ご了承ください。

日本神経学会事務局 〒 113-0034 東京都文京区湯島 2-31-21 一丸ビル 2 階

TEL : 03-3815-1080 FAX:03-3815-1931

（受付時間：平日 10:00～17:00）

(4) 応募演題は厚生労働省等による各種関連法令・指針・通知（薬機法、再生医療法、臨床研究法、生命科学・医学系研究指針など）及び所属施設が定めた倫理規定（動物実験等を含む）を遵守すると共に、あらかじめ所属施設等において倫理審査委員会等による審査・承認を得ていることが必要です。詳細は学会ウェブサイトにある「日本神経学会学術大会時の演題の倫理面について」([https://www.neurology-jp.org/gaiyo/pdf/endai\\_rinri.pdf](https://www.neurology-jp.org/gaiyo/pdf/endai_rinri.pdf)) をご覧ください。承認の得られていない研究についての演題は、応募することができません。ただし、9 症例以下の後方視的検討による症例報告の場合は必ずしも倫理委員会の承認を得る必要はありません。

(5) 応募演題は、演題を登録した時点において、未発表のものに限ります。他学会で既に発表済みの演題でも、論文発表されていなければ応募可能です（同一抄録は不可。タイトルの変更や症例の追加などで少し内容を発展させてあれば可）。

海外で発表した演題の「アンコール発表」に関しては、次項目「4. アンコール演題」をご確認ください。

(6) 演題の査読を行いますので、抄録本文の中で筆頭演者の所属機関名、及び所属機関が明らかになるような記述や、筆頭演者や共著者が明らかになるような記述（謝辞を含む）は避けてください。

(7) 薬品名を記載する場合は、必ず一般名を記載してください。薬品の商品名は、使用禁止とします。

(8) 未承認薬を使用した研究に関しては、本文中で薬品が未承認であることがわかるよう、記載してください。

(9) 薬品以外の商品名（HAL® など）を使用する場合には、必ず登録商標やトレードマークを表示方法に従って付記してください。ただし、登録商標やトレードマークは初出のみ付記し、繰り返しは不要です。

- (10) 症例数や実験に用いた動物の数などは、演題登録時点で実際に行った数値を記載してください。数値の記載がない場合、不採択とさせていただきます場合がありますので、ご了承ください。
- (11) 一例報告については原則認めません。但し、症候学的、学術的な面などから深く検討されているのであれば、審議の上、採択することがあります。
- (12) 患者の個人情報に抵触する可能性のある内容は、患者あるいはその代理人からインフォームド・コンセントを得た上で、個人が特定できないよう十分留意して発表してください。入院年月日や年齢など、個人が特定される恐れのある情報を含む発表は禁止します。
- (13) 演題登録締め切り後、査読委員が査読を行い、採否を決定します。応募演題の内容によっては、採択されない場合もありますが、ご了承ください。
- (14) 英文抄録は登録者が英語を母国語としない場合、原則としてネイティブスピーカーチェックを受けてから提出してください。英文が不完全であるために不採択とさせていただきます場合がありますので、ご了承ください。
- (15) 第64回日本神経学会学術大会 最優秀演題賞を設けますので、応募希望の方は抄録登録時にご申請ください。応募資格は、登録時、学部卒業後15年未満とします。尚、最優秀演題賞への応募演題に関しては、英語での登録を推奨します。表彰式は、5月31日(水)の全員懇親会で行います。
- (16) 演題登録締め切り後の登録内容の修正は一切承りませんので、注意深く抄録をご準備ください。抄録が採択された場合、事務局からの修正依頼もございません。また、学術大会終了後の修正も承りませんのでご了承ください。ご発表いただいた抄録(発表条件を満たした抄録)は、学術大会後に「臨床神経学サプリメント号」(オンライン)に掲載されます。掲載ページには「臨床神経学63巻サプリメント号S-〇〇」という頁数が付与されます。  
尚、「臨床神経学」の投稿規程に基づき、掲載論文の複写、および転載等の二次的使用に関する許可の権限は日本神経学会に所属いたします。またこれによる使用料は日本神経学会に帰属するものとします。  
一般演題で応募された先生の中から、海外からの演者との企画シンポジウムに採択させていただく場合がございます。その場合、日本語でご登録いただいた場合でも、英語での発表形式をプログラム委員会からお願いすることがございますので、ご了承ください。

#### 4. アンコール演題

第64回日本神経学会学術大会では、以下の条件を満たす場合のみ、アンコール演題の登録を認めます。

- ・本学会演題登録時から遡って1年以内に海外学会で発表した演題に限る(国内学会は不可)。
- ・発表内容は、最初の発表のデータや解釈を忠実に反映させる。
- ・著作権が生じている場合は、発表者自身が承諾を得る。

##### 【登録方法に関して】

- ◆演題登録時に演題名の最初にE#を追記し、必ずアンコール発表であることが分かるようにしてください。
- ◆演題登録時の確認メールがお手元に届きましたらすぐに、件名末尾に「(アンコール演題)」と追記し、返信メールにて登録演題がアンコール演題であること、また同演題のこれまでの発表履歴を、必ず学会事務局演題係jsn-abs@gol.com宛に11月24日(木)正午までにお知らせください。締め切り間に合わない場合は査読ができませんのでご了承ください。

#### 5. 「研究シーズの企業導出サポート事業」への応募について

日本神経学会では、「研究シーズの企業導出サポート事業」を実施致します。本事業は、日本神経学会学術大会の一般演題のうち、研究シーズ候補としてふさわしい優秀な演題について、その研究シーズのトランスレーション(社会実装)としての企業導出をサポートするものです。

本事業への応募をされる方は、演題登録システム上で本事業へ「応募する」を選択の上、必要事項をご登録してください。応募方法、ならびにその後のフロー等の詳細については、学術大会ウェブサイトの演題募集要項内をご確認ください。

#### 6. 利益相反の開示について

産学連携による臨床研究の適正な推進を図り、科学性・倫理性を担保に遂行された臨床研究成果の発表における中立性と透明性を確保するため、すべての発表者に「利益相反(Conflict of Interest, COIと

略す)」の開示を求めることになっております。

演題登録画面の「利益相反の有無」の入力欄にて「ある」「ない」をご選択ください。「ある」の場合、演題登録後に日本神経学会ホームページの「倫理および利益相反に関する規程等」項目にある「別紙様式3」をダウンロードしていただき、ご記入の上、以下の学会事務局担当者までメール添付もしくは郵送にて送付してください。

COI提出締切：2022年12月7日（水）必着

**COI自己申告書送付先** 第64回大会 COI 受付係  
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-21 一丸ビル 2階  
TEL：03-3815-1080 FAX:03-3815-1931  
E-mail：jsn-abs@gol.com

尚、利益相反について、専門的な内容に関するご質問は上の学会事務局までお問合せください。

## 7. 採否通知

演題登録完了通知メールに記載されている、7ケタの登録番号をもって、2023年2月中旬頃より大会ウェブサイトの採択演題一覧ページにて公開いたします。個別にメールでの発表日時等の通知はいたしませんので、必ず当サイトをご確認ください。発表形式も同時に掲載いたします。発表日の希望ならびに、決定後の発表日時変更は承りません。筆頭演者ご自身が日程調整の上、ご発表いただきますようお願いいたします。

## 8. 口演による発表方法

- (1) PC プロジェクターが使用可能です。スクリーンの縦横比は9:16です。
- (2) ビデオプロジェクターの使用はできませんが、PCからの動画投影は可能です。
- (3) 発表データはメディア（USBメモリーまたはCD-R）での持ち込みとなります。但し動画がある場合にはご自身のPCをご持参ください。
- (4) 研究倫理諸規定および個人情報保護の諸規定に遵守してご発表ください。
- (5) 発表資料の中に営利目的の企業や製品のロゴを入れないでください。
- (6) 利益相反の有無に関わらず、ご発表時に利益相反開示についてのスライドをご提示いただきます。詳しくは日本神経学会ホームページの「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
- (7) 学術大会国際化のため、口演スライドはできるだけ英語で作成するようお願いいたします。但し、英語セッションにおいての口演スライドは必ず英語で作成してください。
- (8) 一般演題の口演発表時間は、一人当たり発表10分+質疑応答5分を予定しています。（プログラムの都合により若干変更する場合がございますのでご了承ください）

## 9. ポスター形式による発表方法

- (1) ポスターパネルは縦210cm×横90cmの予定です。パネル上部の演題番号のみ、学術大会運営事務局で用意いたします。演題名・氏名・所属は各自で20cm×70cm枠に横書きしてください。
- (2) ポスターは、要旨・目的・方法・結果・考察の順に大きくわかりやすく書いてください。文章は2～3m離れたところからでも見えるような大きなポイント文字を使い、図式は一辺が20cm以上の大きさとタイトル・簡単な説明をつけてください。
- (3) パネル自体に直接文字や図表を書いたり、パネルに糊づけしたりはできません。
- (4) ポスターをパネルに貼りつけるための画鋲は、会場に用意いたします。
- (5) ポスター発表のスケジュール等は、演題採用通知発表後にご案内させていただきます。
- (6) 研究倫理諸規定および個人情報保護の諸規定に遵守してご発表ください。
- (7) 発表資料の中に営利目的の企業や製品のロゴを入れないでください。
- (8) 利益相反の有無に関わらず、ご発表時には利益相反開示についての内容を記載してください。詳しくは日本神経学会のホームページ「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
- (9) 学術大会国際化のため、できるだけ英語で作成するようお願いいたします。但し、英語セッションにおいてのポスターは必ず英語で作成してください。
- (10) 一般演題のポスター発表時間は、一人当たり発表5分+質疑応答2分、総合討論30分を予定しています。（プログラムの都合により若干変更する場合がございますのでご了承ください）

10. 日本神経学会 学術大会運営委員 (50音順・敬称略)  
 青木 正志 宇川 義一 桑原 聡 佐藤 晶 高橋 良輔 戸田 達史  
 西山 和利 服部 信孝 望月 秀樹
11. 第64回日本神経学会学術大会 年次学術大会学術委員 (50音順・敬称略)  
 青木 正志 吾郷 哲朗 熱田 直樹 安藤 哲朗 五十嵐久佳 池内 健  
 池田 佳生 磯部 紀子 井上 雄一 今井 富裕 岩田 淳 鵜沢 顕之  
 浦上 克哉 卜部 貴夫 漆谷 真 尾内 康臣 岡澤 均 岡野 栄之  
 小野賢二郎 勝野 雅央 河内 泉 熊田 聡子 小池 春樹 國分 則人  
 佐竹 涉 島田 斉 清水 俊夫 下畑 享良 神 一敬 鈴木 重明  
 関口 兼司 高尾 昌樹 高梨 潤一 高橋 祐二 竹下 幸男 竹島多賀夫  
 武田 篤 立花 直子 田中 亮太 坪井 義夫 寺田 清人 豊田 一則  
 長井 篤 永井 義隆 中嶋 秀人 中村 治雅 中森 雅之 西川 典子  
 西野 一三 野寺 裕之 能登 祐一 長谷川一子 花鳥 律子 松浦 英治  
 松村 剛 三澤 園子 三室 マヤ 宮本 亮介 望月 秀樹 山中 義崇  
 雪竹 基弘 横田 隆徳 横山 和正 和田 直樹 森 雅裕 (事務局長)
12. 学術大会教育プログラムワーキンググループ (50音順・敬称略)  
 青木 正志 小野寺 理 大八木保政 北川 一夫 吉良 潤一 桑原 聡  
 古和 久典 佐竹 涉 神 一敬 砂田 芳秀 高嶋 博 戸田 達史  
 富本 秀和 波田野 琢 服部 信孝 前田 哲也 森 雅裕

### 各種企画のお知らせ

#### ☒…英語セッション

1. 大会長講演 (6月1日(木)午後 予定)  
 桑原 聡 (千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学)
2. Plenary Lecture 01 (6月1日(木)午前 予定) ☒  
 Matthew Kiernan (The University of Sydney, Faculty of Medicine and Health, Australia)
3. Plenary Lecture 02 (6月2日(金)午後 予定) ☒  
 Nortina Shahrizaila (Faculty of Medicine, University of Malaya, Malaysia)
4. 2022年度学会賞受賞者招待講演 (6月1日(木)午後 予定)
5. Neuroscience Frontier Symposium／ホットトピックス／シンポジウム／新ガイドライン等 (予定)  
 【大会長校企画シンポジウム】  
 6月2日(金)午後  
 ・神経疾患領域の医薬品開発を最速化するために  
 【Neuroscience Frontier Symposium】  
 5月31日(水)午後  
 ・Uncovering molecular link between nutrition and neurodegeneration in ALS ☒  
 6月1日(木)午後  
 ・Gene and cell therapy for neurological diseases ☒  
 6月2日(金)午後  
 ・Common and specific pathologies in neurodegeneration ☒  
 6月3日(土)午前  
 ・Tauopathies: Pathomechanism and management strategies ☒

## 【ホットトピックス】

5月31日(水)午後

- ・ Anti-amyloid therapy for Alzheimer's disease: the time has come [E]
- ・ 脳梗塞に対する革新的医療シーズ実用化の最前線

6月1日(木)午前

- ・ All Roads Lead to Cure – from basic researches towards clinical trials for ataxia [E]
- ・ MSの脳内炎症；B細胞治療にすべきなのか？

6月1日(木)午後

- ・ Disease-modifying treatment of PD: What is the rate-limiting factor of drug discovery? [E]

6月2日(金)午前

- ・ ヒト死後脳を用いた基礎研究の発展

6月3日(土)午前

- ・ Migraine: Pathophysiology and the paradigm shift of management [E]

## 【シンポジウム】

5月31日(水)午前

- ・ The current update of restless legs syndrome; from mechanisms to treatment [E]
- ・ 非侵襲的神経刺激を用いたリハビリテーションにおける知と実践
- ・ Overview of autoimmune peripheral neuropathies [E]
- ・ ALSの早期診断・早期介入をいかにやるか
- ・ 脳神経内科における法律, 訴訟, 法的問題
- ・ これからの若手育成について語ろう

5月31日(水)午後

- ・ Pathogenesis of Parkinson's Disease [E]
- ・ MGガイドライン発刊から1年～どうする治療の使い分け!?
- ・ AI支援で広がる脳卒中診療の現状と展望
- ・ 広がる遺伝性白質疾患の最前線
- ・ 筋電図・神経筋超音波とAI診断の最前線
- ・ 腸内細菌叢研究がもたらす中枢神経疾患医療の変革：現在の到達点

6月1日(木)午前

- ・ 脳神経内科領域でのAIの未来：基礎研究から臨床応用まで
- ・ 注目されているアルツハイマー病の新たな病態研究
- ・ 在宅医療における脳神経内科医と専門職・多職種とのオンライン連携
- ・ 脳小血管ワールド 脳小血管保護による攻めの脳神経内科へ
- ・ 神経系疾患の小児-成人移行医療：現在地と課題
- ・ 脳神経内科医による頸椎症診療
- ・ 脳卒中克服第二次5カ年計画の課題と展望

6月1日(木)午後

- ・ Road to new treatments for autoimmune peripheral neuropathy [E]
- ・ 脳エネルギー代謝とアストロサイトから迫る精神疾患と神経変性疾患の共通病態メカニズム
- ・ Seeing is believing: journey to identify culprit in ALS [E]
- ・ COVID-19罹患後症状・Long COVIDにおける神経症状：脳神経内科医の課題と対策
- ・ 治せるジストニア！～最近の進歩
- ・ 自己免疫性筋炎 - どこまで分かったのか？

6月2日(金)午前

- ・ 神経遺伝学がひらくリピーター病の新展開
- ・ 医療と患者を直接結ぶ：最新のtelemedicineが作る未来
- ・ 神経希少疾患に対する個別化創薬の展望と課題
- ・ Women in Neurology in the USA and Japan [E]

6月2日(金)午後

- ・ The Dawn of A New Era – Therapy for GNE Myopathy [E]
- ・ Lessons Learned from Imaging on Clinical Issues in Parkinson's Disease and related disorders [E]

5月21日(土)午前

- ・ Functional neurological disorders: updates and the role of neurologists [E]
- ・ 脳神経内科の開発最前線, 規制当局や ARO とのコラボレーションを考えて進める開発
- ・ 瀬川病の病態解明と未来への提言 ~瀬川病発見 50 年を迎えて~
- ・ 治療につながるニューロパチーの鑑別診断
- ・ 若手研究者必見! 他学会から学ぶ研究トピックスと新しい潮流
- ・ 脳卒中遠隔医療の夜明け

【歴史セッション】

6月2日(金)午後

- ・ こんなにも面白い神経学の歴史

【新ガイドライン】

6月2日(金)午前

- ・ 脳卒中治療ガイドライン 2021 の解釈と新たなエビデンス

6月2日(金)午後

- ・ ALS 診療ガイドライン 2022 : 最新のエビデンスとプラクティス

6月3日(土)午前

- ・ Beyond the clinical practice guideline for epilepsy [E]

## 6. レクチャーマラソン／教育コース／ International Education Course (予定)

【教育コース (一般)】

5月31日(水)午前

- ・ 脳梗塞再発予防の進歩
- ・ 一次性頭痛の診断と治療に親しもう

5月31日(水)午後

- ・ 病理から見直す診断エラーの傾向と対策—知識とスキルを最適化し明日からの診療に活かす—
- ・ 脳神経内科における臨床遺伝ジレンマセッション ~ こんな時どうする?
- ・ 前頭葉の聴きどころ

6月1日(木)午前

- ・ 大脳皮質基底核症候群の多様性を学ぼう : 臨床, 病理, 遺伝子, 神経画像の立場から
- ・ CIDP の病態生理と治療展望 -What will the new EAN/PNS guideline change in CIDP practice?-
- ・ データサイエンスへの誘い : 臨床応用へ向けて

6月1日(木)午後

- ・ 実践! 若年ミオクロニーてんかん (JME) を極める
- ・ パーキンソン病のデバイス治療 update 及びハンズオン : デバイスの使い方を知らないで何とする

6月2日(金)午前

- ・ 薬剤性ジスキネジアについて改めて考える
- ・ 筋電図塾 in 千葉
- ・ 神経鑑別診断学の最新の進歩と実際

6月2日(金)午後

- ・ 頸椎症の診断のできる神経内科医になろう!
- ・ 疾患別 : 病態から学ぶ高次脳機能障害の診かた

6月3日(土)午前

- ・ 母性脳神経内科学を学ぼう!
- ・ 進行性多巣性白質脳症 (PML) アップデート 2023
- ・ 神経疾患で多くみられる自律神経障害の診方と治療

6月3日(土)午後

- ・不随意運動をマスターする！ Movement disorders 症例検討会
- ・エキスパートから学ぶ脳神経内科の開業で求められるもの

【教育コース(学生・研修医向け)】

5月31日(水)午前

- ・筋疾患のキホン

6月1日(木)午後

- ・デバイスに触れてみよう！脳血管内治療ハンズオン

6月2日(金)午後

- ・頭痛診療入門：今日から役立つ診療法

6月3日(土)午後

- ・学生・初期研修医のための「症候・病態」から学ぶ臨床神経学

7. メディカルスタッフポスターセッション(6月2日(金)・3日(土) 予定)
8. 学生・初期研修医セッション(6月3日(土) 予定)
9. 各種共催セミナー
10. 日本神経学会主催セミナー
  - ・第20回生涯教育セミナー「レクチャー」(5月31日(水)午前・6月3日(土)午後 予定)
  - ・第20回生涯教育セミナー「Hands-on」(6月3日(土)午後 予定)
  - ・第21回専門医育成セミナー(5月31日(水)午前・午後 予定)
  - ・第10回メディカルスタッフ教育セミナー(未定)